

出典・参考図書・関連情報  
(青文字はリンクしています)

## 森の空気

森お中やその周辺は、気温や風当たりが穏やかで静かで気持ちが良いことは知られていますが、最近では地球温暖化防止に役立つ森のCO<sub>2</sub>吸収・固定の機能も注目されています。

### ■ 気温緩和

地表温度が森林上部になるので、森林内は夏は涼しく冬は暖かく、気温変化も穏やかになります。



### ■ 防風と遮音

風の強い地域は昔から防風機能を利用してきました。街路樹は遮音機能も利用しています。



### ■ フィトンチッド

樹木が出す香り良く抗菌・防虫・消臭・脱臭作用がある揮発性活性物質をまとめてフィトンチッドと言います。昔から利用されてきました。最近はそのリフレッシュ効果(森林浴)も注目されています。針葉樹が6~8月に多く発散します。



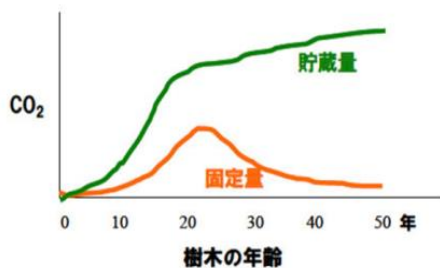
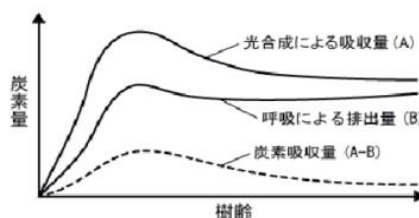
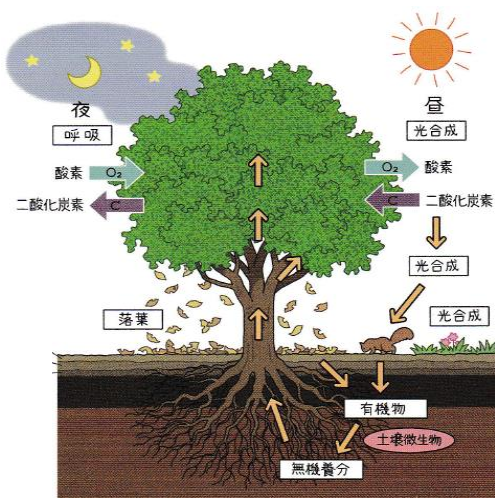
樹種	用途	フィトンチッド(化学成分)	効果
ヒノキ	寿司をのせる飯台	テルペン類	抗菌
サワラ	寿司ネタを入れたガラスケースの中	ピシフェリン酸	酸化防止
桜の葉	桜餅	クマリン	抗菌
柏の葉	柏餅	オイゲノール	抗菌
青森ヒバ	木造住宅	ヒノキチオール	抗菌・防虫
クスノキ	防虫剤	カンファー	防虫・防腐
お茶	飲料	カテキン	抗菌
わさび	薬味	アリルイソチオシアネート	抗菌
ショウガ	食料	ゲラニルアセテート	抗菌
ショウブの葉	菖蒲湯	アサロン	疲労回復・精神安定
カボチャ	食料	カロチノイド	風邪の予防

「イラスト図解 森を知るデータ集 No2 森林の働き」(全国林業改良普及協会)

写真・表:[森林・林業学習館(フィトンチッドのさまざまな効果)]より

### ■ 二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の吸収・固定

樹木は光合成で二酸化炭素を吸収し、呼吸で二酸化炭素を出しますので、その差が吸収固定量になります。炭素の吸収固定量は20年位までが多く、その後は小さくなりますので、若い樹木を育てると効果的です。木材は炭素を貯蔵していますが、燃焼や腐敗すると炭素は二酸化炭素として大気に戻ります。



※ 相模原市の地球温暖化対策にCO<sub>2</sub>森林吸収が含まれています  
[相模原市地球温暖化対策実行計画]

左図:「森づくり安全技術マニュアル」(森づくり安全技術・技能全国推進協議会)より

右図:[丹沢大山自然再生委員会]より

